

課題の整理と 支援ニーズの言語化 [ワークショップ]

3月25日「マッチング会」開催！

経団連会員企業の皆さんへ

子ども・若者
支援

地域活性化
支援

生活困難者
支援



休眠預金活用団体（NPO等）×企業 ボランティア・プロボノ マッチング会

2022年3月25日（金）14:00～16:30 *参加無料

休眠預金を活用して社会課題解決を目指す団体（10組程度）と企業の皆様とのオンラインマッチング会を開催します。参加予定の団体が取り扱う社会課題は、子どもや若者支援、地域活性化支援、生活困難者支援、災害支援など多岐にわたります。国民の資産である休眠預金を活用するため、ガバナンス・コンプライアンス体制がしっかりと信頼できる団体が選定されていることも特徴です。

ボランティアやプロボノ支援を通じて、休眠預金活用団体と連携しながらさまざまな社会課題解決に取り組みたい企業様、社会課題への感度の高い人材の育成に活用されたい企業様、SDGsに貢献する事例作りに关心の高い企業様、社会貢献活動を活性化されたい企業様などのご参加をお待ちしています。

【プログラム】

調査報告

団体の企業連携に関するニーズ・実態調査の結果報告など

報告者：鈴木 均（日本民間公益活動連携機構（JANPIA）事務局長）

ミニ講座

人的支援のコーディネーション 成功のためのコツとヒント

講師：嵯峨 生馬氏（認定NPO法人サービスグラン特代表理事）

ショート
プレゼン

団体のボランティア・プロボノ支援ニーズ紹介

10組程度からのボランティア・プロボノ支援のニーズ紹介

マッチング会

団体別ブレイクアウトルームでのマッチング会

団体別ブレイクアウトルームにて参加企業様とマッチングに向けた対話

主催：一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

協力：一般社団法人 日本経済団体連合会

参加団体等の詳細、申込方法は
裏面をご覧ください

【参加団体について】

現在3年目の事業を進めている2019年度の採択団体から、企業連携への関心が高い10組程度が参加する予定です。

休眠預金等活用制度は、資金を分配して伴走支援を実施する資金分配団体と、社会課題の解決を担う実行団体（NPO等）から構成されています。参加する予定の10組とは、実行団体（1団体）とそのパートナーである資金分配団体の組み合わせとなります。

なお、マッチング会をより効果的なものにするため、参加団体には事前にボランティア・プロボノのコーディネーションや支援ニーズの整理等を含む基礎講座を受講いただいています。

【支援ニーズについて】

2021年11月に実施した休眠預金活用団体への企業連携・支援ニーズ調査では、ボランティアの受け入れについて、「専門知識や特技を活かした講師や指導」との回答が最も多い一方、「イベントの手伝い」など比較的軽いボランティアニーズもありました（右表参照）。

プロボノの受け入れで関心がある分野は、「広報・情報発信」が最も多く、次いで「資金調達」「ICT活用」となりました。

団体からは、「経団連会員企業等とのネットワーク化」や「協働して社会課題解決を目指すことができる企業」との連携を期待する声が最も多くありました。



▼2019年度採択団体の詳細情報は下記よりご覧ください。
https://www.janpia.or.jp/dantai_search/

▼休眠預金活用事業サイトで2019年度採択団体の企業連携事例をご紹介しています。
<https://kyuminyokin.info/articles/30>

▼休眠預金等活用については下記よりご覧ください。
<https://www.janpia.or.jp/kyumin/>

●ボランティアの受け入れで関心があるもの

	資金分配団体	実行団体
専門知識や特技を活かした指導	61.0%	67.5%
相応の実務経験を有する作業	55.6%	34.9%
事務的な軽作業	44.4%	32.5%
受益者への直接支援	41.7%	55.4%
イベントの手伝い	38.9%	55.4%

※資料：休眠預金活用団体への「企業連携・支援ニーズ調査」結果より（2021年11月実施）

申込方法



参加をご希望の方は、以下のフォームからお一人ずつお申込みをお願いします。（1社から複数人でのご参加も可能）
<https://forms.office.com/r/038bT3Fk0W>

※申込締切：2022年3月4日（金）

※3月24日（木）までに、お申込み時にいただいたメールアドレスへZoomURLをお送りします。

問合せ先



一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）

企業連携事務局

MAIL : info@janpia.or.jp

<https://www.janpia.or.jp/>



このワークショップの概要

目的

ボランティア・プロボノ支援者とのマッチングの実現可能性を高めることで休眠預金活用事業の出口戦略を推進する

目標

実行団体の課題を整理し
支援ニーズを具体化・言語化する

とにかく課題がたくさん！
どこから手を付ければ
いいのか分からぬ！

ボランティア・プロボノに
何を手伝つてもらいたいか
イメージが湧いた



NPO・地域団体

本日は・・・

解決の方向性を
考えてみる
ポジティブな場です

小さな課題、大きな課題
まずは
どんどん出しましょう

いろいろな見方・考え方
まずは
尊重して受け止めます

課題の共有は
この場限りで
お願いします

ワークショップの流れ

① 課題の棚卸・整理

- 課題の棚卸・整理（10分）
- 中長期的目標の確認（10分）
- 課題の整理・絞り込み（15分）

② 解決策の検討

- 課題の解決策の検討（10分）
- 課題の解決策の分類（5分）

③ 支援ニーズの言語化

- 希望する支援内容の設定（5分）
- 支援者へのメッセージの検討（5分）
- 外部視点からの改善（20分）

ワーク①課題の棚卸・整理

ステップ①-1 課題の棚卸

いま団体として、困っていること・解決したいことを、
思い浮かぶままに、書き出してみてください。

記入例：

○○が
少ない

○○が
足りない

○○が
多過ぎる

○○が
できない

○○が
不安

○○の
解決策が
見つからない

..

..

ワーク①課題の棚卸・整理

このワークの進め方・ワークシートの使い方

- **休眠預金活用事業**に関連の高い課題から考えてください
- **付箋1枚につき1件ずつ記入します**
- **記入者のお名前を明記します**
- **遠慮や忖度は不要です**
- Jamboardへの記入が難しい参加者には、**他の人が代理で記入するなど、サポートをお願いします**

※ シート上にある「重要度・緊急度」は考慮せず、まずは思い浮かぶままに自由に意見を出し合っていきましょう。

ステップ①-2 中長期的な目標の確認

3～5年後の将来、団体が実現を目指す「成果」について書き出してください。

- ・ ○年後に○○○○○を○○人にする
- ・ ○○○率を○○%削減を目指す



付箋は
使いません

ワーク①課題の棚卸・整理

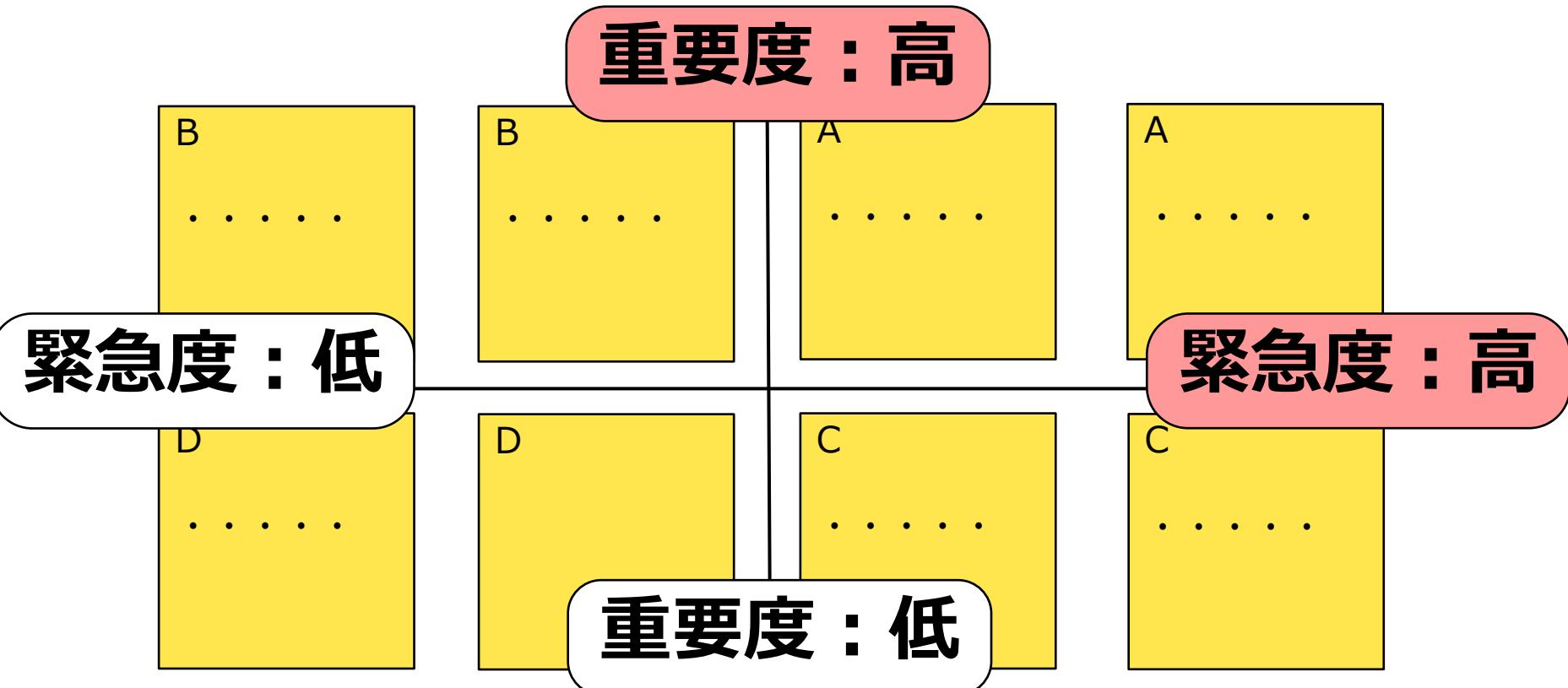
このワークの進め方・ワークシートの使い方

- **休眠預金活用事業申請時の内容**を参考にしてください
- 団体内で意見の取りまとめをお願いします
- 時期や人数等の具体的な情報を盛り込んでください
- 1~3件程度を目安にお願いします
- ワークシートに直接記入します

ワーク①課題の棚卸・整理

ステップ①-3 課題の整理

「中長期的な目標」に照らし合わせながら、書き出した付箋を、重要度と緊急度により分類してみましょう。



ワーク①課題の棚卸・整理

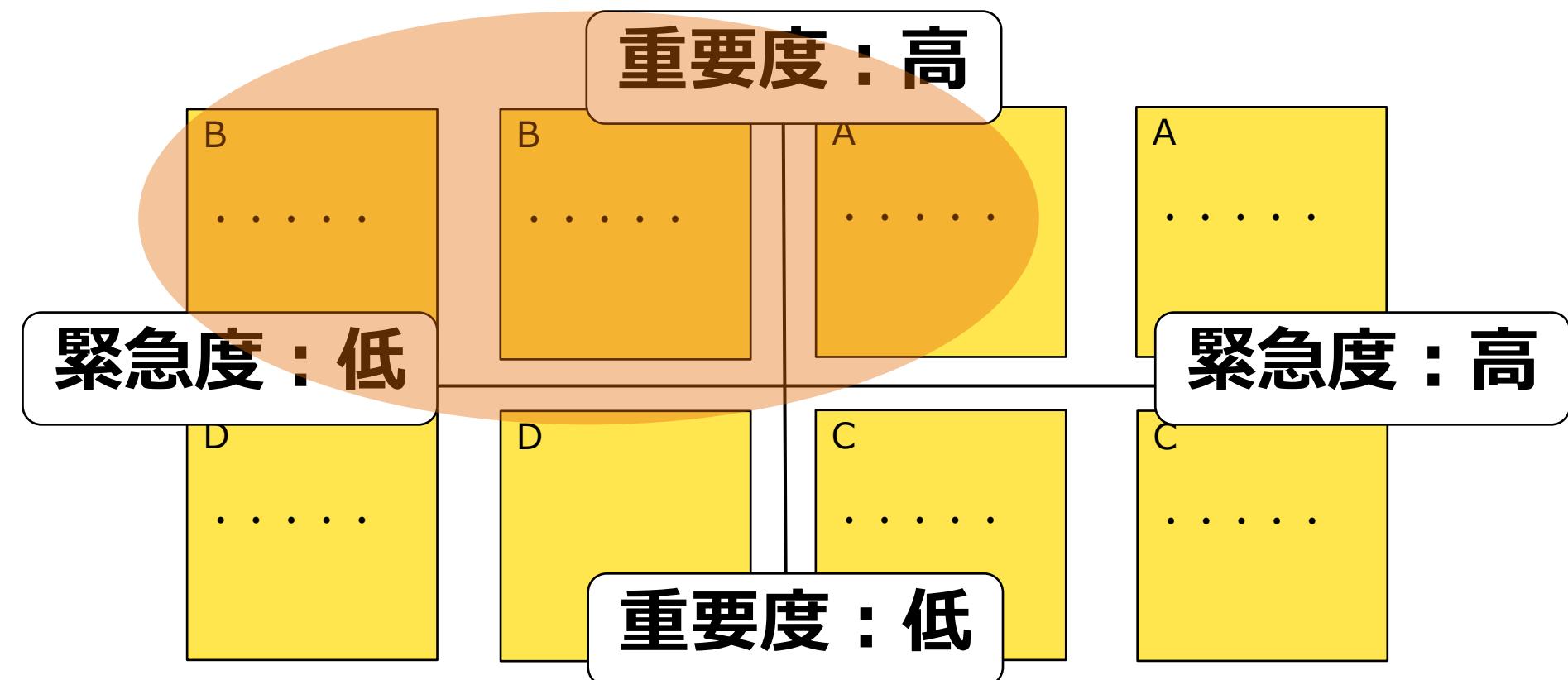
このワークの進め方・ワークシートの使い方

- 「中長期的な目標」を基準に検討を進めます
- 重要度・緊急救度を検討する際は、**参加者どうしの活発な議論をお願いします**
- 新たに課題が出てきたときは、付箋を追加してください

ワーク①課題の棚卸・整理

ステップ①-4 検討課題の絞り込み

本日このあと検討を深めていく対象課題を絞り込みます。



課題と解決策【再掲】

団体の課題

企業から
資金的支援を得たい！

解決策の選択肢

企業向け
営業資料を作る

企業向け
ボランティア参加
メニューを考える

企業向け
セミナー等を
企画する

企業に
飛び込み営業する

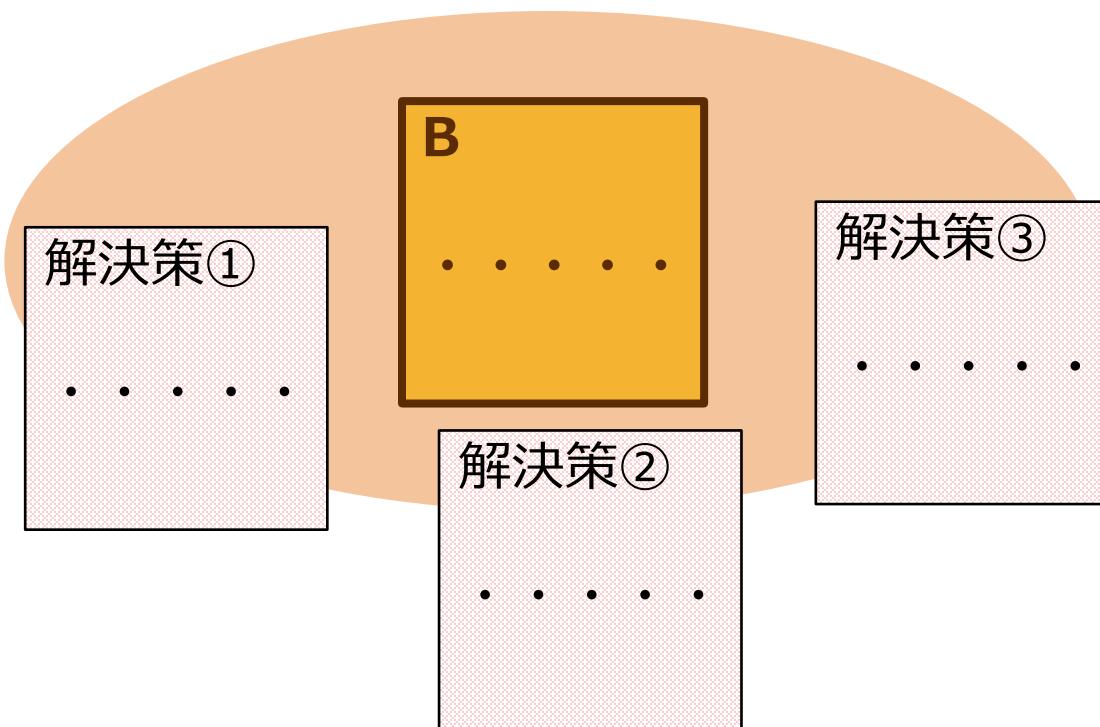
企業向け
ボランティア参加
案内チラシを作る

ホームページ用に
企業向け記事を
作成する

ワーク②解決策の検討

ステップ②-1 課題の解決策の検討

検討対象とした課題について、解決策の選択肢として考えられるものを書き出してみてください。



ワーク②解決策の検討

このワークの進め方・ワークシートの使い方

- **1つの課題につき1枚のワークシートを使用します**
- **自由な雰囲気での議論が可能性を広げ、いいアイデアを生み出します**

ワーク②解決策の検討

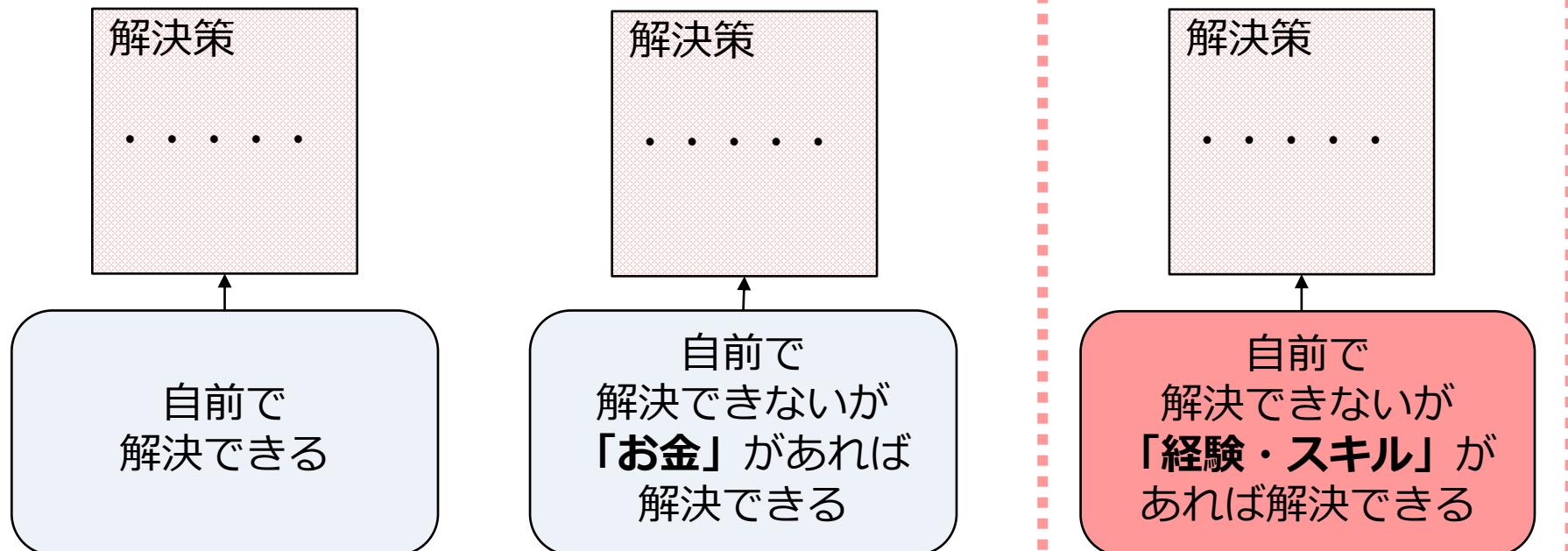
ステップ②-2 課題の解決策の分類

解決策の選択肢について、

- ・自前で解決できること
- ・自前では解決できないが、「お金」があれば解決できること
- ・自前では解決できないが、「スキル」があれば解決できること

に分類してみてください。

↓ この先さらにここを掘り下げます



どちらの呼びかけ方が響きますか？【再掲】

目的を共有

一緒にやってる感

具体性

人が足りなくて
とにかく困っているから
手伝って！

課題を解決するために
あなたの力が必要だから
手伝って！

手段として使う

丸投げ感

漠然

ワーク③ 支援ニーズの言語化

ステップ③-1 「希望する支援内容」の設定

希望する支援内容について

25文字以内を目安に、短く簡潔な表現を考えましょう。

中長期的な活動目標（ステップ①-2の内容をコピー）

A horizontal row of 15 small, uniform circles arranged in a single line.

希望する支援内容

A decorative horizontal bar consisting of a series of small, light blue circles arranged in a repeating pattern.

こんな人に

ワーク③ 支援ニーズの言語化

ステップ③-2 「支援者へのメッセージ」の検討

支援者募集の記事を見た人に向けて 応募を呼びかけるようなメッセージを考えます。

中長期的な活動目標（ステップ①-2）

ワーク③ 支援ニーズの言語化

ステップ③-3 外部視点からの改善

支援ニーズをじっくり眺め、新規参加者など外部の視点を想像し、知りたいこと・不安なこと、等を書き出します。

記入例：

どの程度の
経験が
必要？

本当に
3ヶ月で
終わる？

どんな
品質を
期待？

夜や
土日でも
大丈夫？

○○って
どういう
意味？

どんな人が
やって
いるの？

ワーク③ 支援ニーズの言語化

ステップ③-3 外部視点からの改善

外部視点からの不安や疑問を解消し、前向きに考えても
らえるような伝え方・説明方法を考えていきます。

目標が
はっきり
しない

「○年後に
○○人」の
目標を明記

どんな人が
やって
いるの？

企業勤めの
○歳代も
多く参加

どの程度の
経験が
必要？

デザインの
経験は不要
Officeが
使えればOK

本当に
3ヶ月で
終わる？

3回程度の
ミーティング
を想定

ワーク③ 支援ニーズの言語化

このワークの進め方・ワークシートの使い方

- 「団体の人」と「外部の視点から質問する人」の役割を決め、ロールプレイに挑戦します
- あえて厳しめのコメント・無理解な質問等を繰り出してみることで、結果的に、多くの人が見て分かりやすい発信内容へのブラッシュアップにつながります
- 「ポジティブに伝えるとしたら？」(訴求点の言語化)
「ネガティブを解消するためには？」(阻害要因の解消)の両面から、検討を進めてみましょう

実行団体の皆さん：プロジェクト登録フォーム作成のお願い

「プロジェクト登録フォーム（下書き用）」に支援ニーズを発信する記事をまとめ、Wordにて提出をお願いします。記載内容の一部を一覧化し、マッチング会の事前に企業に共有します。

【GRANT】プロジェクト新規登録フォーム（下書き用）	
【求める相手】 どのような人を求めていますか？	<input type="radio"/> 講師 <input type="radio"/> プロボノワーカー <input type="radio"/> 非常勤職員 <input type="radio"/> パート・アルバイト <input type="radio"/> その他
【希望する支援】 希望する支援内容 短くひとことで。	【こんな人に（団体メッセージ）】 「こんな人に応募してほしい」という思いをメッセージにして記入してください。 上記の応募者へのメッセージにつ
【募集期限】 募集の期限はいつ？	
【オンラインで】 最初から最後まで オンライン応可能ですか？	
【団体の活動目標】 将来に向けて団体が目指している活動の柱がりや、実現したい社会の姿、これらを取り組んでいきたいと思っていることについてご記入ください。されば、「参加者の人数」や「プログラムの実施回数」など、具体的な数字を交えて記入をお願いします。	
上記の活動目標について確認のうえ、見出し用に、まとめてひとこと（1行）でお願いします。	
【支援に期待すること】 期待する成果物のイメージや、支援を受けることで解決したい課題、実現したい成果など、今回募集する支援内容に関して期待することを、できるだけ詳しく記入ください。	
【団体が求める負担】 今回募集する相手方に費用が発生する可能性はありますか？（会費・参加費・ボランティア保険料等の支払いが発生する場合は必ずご記入ください） ※「あり」の場合、具体的にご記入ください	
<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	
その他の 活動風景の様子が分かる写真をお手元にご用意ください。写真があることで、団体の活動の様子がよく伝わり、募集への反応を高めるのに効果的です。なお、写真是複数枚アップロードできます。	
プロジェクト情報の新規登録は、「GRANT」にログインの上、ウェブ上から入力をお願いします。 ログインはこちらから ⇒ https://grant.community/select_sign_in_regions	

【提出先】JANPIA企業連携担当
info@janpia.or.jp
【締切】3月3日（木）

資金分配団体のみなさま：コーディネーター登録のお願い

「GRANT」上から「コーディネーター登録」をお願いします。

The screenshot shows the 'Coordinator Registration' page of the GRANT service. At the top, there is a navigation bar with three buttons: 'Participant Registration' (参加者登録), 'Participant Login' (参加者ログイン), and 'Organization Login' (団体ログイン). The 'Organization Login' button is highlighted with a yellow background. Below the navigation bar, the page title 'コーディネーター登録' is displayed. The main content area contains instructions for organizations: 'GRANT'のコーディネーターを希望する団体について、団体名・団体概要・問い合わせ先等をご記入ください。ご記入いただいた情報は、「GRANT」運営事務局にて内容確認を行ったうえで公開へと進めます。公開まで少しお時間をいただきますが、何卒ご了承願います。'. There are two input fields: one for 'Organization Name' (団体名) and one for 'Organization Summary' (団体概要). Both fields have a red '必須' (Required) label next to them. The 'Organization Name' field has a placeholder text: '法人格を含む正式な表記で入力してください。'.

<https://grant.community/coordinates/new>

お疲れ様でした!!

特定非営利活動法人 サービスグラント

